

INDEX C.XML、INDEX EC(電気通信設備)、INDEX MC.XML(機械設備)

国土交通省令和5年3月版「工事完成図書」の電子納品等要領「同 電気通信設備編」「同 機械設備工事編」と異なるものを列挙する。
ここに記載のない項目は国交省の同要領に従うこと。納品時には「埼玉県での必要度」が◎○のものには必ずエラーチェック、訂正を行うこと。
◎:必須 ○:条件付き記入(データがある場合は必ず記入) △:任意

項目名	埼玉県における取扱い	国要領での必要度	埼玉県での必要度	納品時エラーチェック	止むを得ない理由
基礎情報					
メディア番号	大容量ファイル交換システム等を活用した場合は1とする	◎	◎		
メディア総枚数	大容量ファイル交換システム等を活用した場合は1とする その他データ用媒体は電子納品保管管理システム登録対象外のため、メディア枚数には含まない。 (例) 登録用媒体2枚(SD)、その他データ用媒体1(HDD)の場合・・・2 登録用媒体を大容量ファイル交換システム、その他データ用媒体1枚(HDD)の場合・・・1	◎	◎		
適用要領基準	土木工事は「土木202303-1」、電気通信設備工事は「電通2023-01」、機械設備工事は「機械2023-01」とする	◎	◎		
施工計画書フォルダ名	(国と同じ)「PLAN」で固定	○	△		
施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)「PLAN/ORG」で固定	○	△		
打合せ簿フォルダ名	(国と同じ)「MEET」で固定	○	△		
打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)「MEET/ORG」で固定	○	△		
写真フォルダ名	(国と同じ)「PHOTO」で固定	○	△		
工事完成図フォルダ名 施工図面・完成図フォルダ(機械工事)	(国と同じ)「DRAWINGF」で固定				
台帳フォルダ名	(国と同じ)土木、電気通信設備は「REGISTER」、機械設備は「REGIST M」で固定 ※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	○	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ情報	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
地質データフォルダ名	(国と同じ)「BORING」で固定	○	△		
ICONフォルダ名	(国と同じ)「ICON」で固定	○	△		
BIMCIMフォルダ名	(国と同じ)「BIMCIM」で固定	○	△		
その他フォルダ名	(国と同じ)「OTHR」で固定	○	△		
その他オリジナルファイルフォルダ情報					
その他オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)	◎	◎		
その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	(国と同じ)	◎	◎		
設備図書フォルダ名	(国と同じ)電気通信設備工事の場合記載「FACILITY」で固定	◎	○		
設備図書オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)電気通信設備の場合記載「FACILITY/ORG」で固定	◎	○		
完成図書フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK」で固定	◎	○		
B 実施仕様書フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B SPC」で固定	◎	○		
B 計算書フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B CHECK」で固定	◎	○		
B 施工図フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B INST」で固定	◎	○		
B 機器図フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B DEVICE」で固定	◎	○		
B 施工管理記録書フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B EXAM」で固定	◎	○		
B 取扱説明書フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B MANUAL」で固定	◎	○		
B 施工図フォルダ名	(国と同じ)機械設備工事の場合記載「K BOOK/B INST」で固定	◎	○		
工事件名等					
発注年度	(国と同じ)	◎	◎		
工事番号	工事執行管理システムの連携番号11桁を記入する。 複数年度の工事の場合は発注最終当初年度(ゼロ債務工事の場合は当初支出負担行為を起案した年度)の連携番号を記入する。	◎	◎		
工事名称	請負契約書の名称を記入する。 財務システム入力名称等、文字数制限により途中で切れたものは不可。 「社資」「社会資本総合交付金」[総]除)等も契約書とりの入力とする こと。	◎	◎		
工事実績システム登録番号	(国と同じ)CORINS番号を記入する CORINS登録がない場合は「0」とする	◎	◎		
工事分野	(国と同じ)	◎	◎		
工事業種	(国と同じ)	◎	◎		
工種・工法型式					
工種	(国と同じ)	◎	△		
工法型式	(国と同じ)	◎	△		
住所情報					
住所コード	(国と同じ)	◎	△		
住所	(国と同じ)	◎	△		
工期開始日	(国と同じ)	◎	◎		
工期終了日	(国と同じ)	◎	◎		
工事内容	(国と同じ)	◎	△		
ICON対象	(国と同じ)	◎	△		
BIMCIM対象	(国と同じ)	◎	△		
場所情報					
測地系	(国と同じ)	◎	△		
水路・水系情報					
対象水系路線名	正式な名称を記載し、主要地方道を(主)等に省略しない 複数路線にわたる場合は半角コンマ","で区切る (例) "新河岸川"に係る工事・・・一級河川新河岸川 "毛長川排水機場"に係る工事・・・一級河川毛長川 "県道朝霞藤線"に係る工事・・・主要地方道朝霞藤線 "秋ヶ瀬橋"に係る工事・・・主要地方道さいたま東村山線 複数路線にわたる工事・・・一般国道254号,一般県道川越新座線	○	○		
現道-旧道区分	(国と同じ)	○	△		
対象河川コード	(国と同じ)	○	△		

項目名	埼玉県における取扱い	国要領 での必要度	埼玉県での 必要度	納品時 エラー チェック	止むを得ない 理由
左右岸上下線コード	(国と同じ)	○	△		
測点情報	(国と同じ)	○	△		
距離標情報	(国と同じ)	○	△		
境界座標情報					
西側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
東側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
北側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
南側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
施設情報					
施設コード	別紙「施設コード一覧」を参照	◎	△		
施設名称	// //	◎	△		
測地系		◎	△		
緯度経度					
施設情報緯度		○	△		
施設情報経度		○	△		
平面直角座標					
施設情報平面直角座標系番号		◎	◎		
施設情報平面直角座標X座標		◎	◎		
施設情報平面直角座標Y座標		◎	◎		
発注者情報					
発注者-大分類	CORINSの発注機関コードの中分類どおり「埼玉県」と記入する。	◎	◎		
発注者-中分類	事務所名をCORINSの発注機関コードの小分類に従って記入する。 (例) 道路環境課…(本庁部局) さいたま県土整備事務所…(県土整備事務所) 営繕・公園事務所…営繕・公園事務所	◎	◎		
発注者-小分類	発注機関名をCORINSの発注機関コードの細分類に従って記入する。 (例) 道路環境課…県土整備部 さいたま県土整備事務所…さいたま県土整備事務所 営繕・公園事務所…埼玉県営繕・公園事務所	◎	◎		
発注者コード	CORINSの発注機関コードを記入する (例) 道路環境課…31101007 さいたま県土整備事務所…31105001 営繕・公園事務所…31110000	◎	◎		
工事担当課	本庁部局の場合は課名+担当名、地域機関の場合は担当名を記入する。 課名と担当名の間に空白は入力しない。また、地域機関で河川部、道路部が設定されている場合、部名は省略する。 (例) 道路環境課 補修担当…道路環境課補修担当 さいたま県土整備事務所 河川部 河川・鴻沼川改修事業担当…河川・鴻沼川改修事業担当 営繕・公園事務所 公園担当…公園担当	◎	◎		
受注者情報					
受注者名	受注者名は埼玉県入札参加資格名簿に記載されている正式名称を記入する。「(株)」等の略称は不可。JVの場合は正式名称及び代表者名を続けて記入する。 (例) ○○建設株式会社 株式会社▲▲▲ABC工業 ●●建設株式会社△△組共同企業体(代表:●●建設株式会社)	◎	◎		
受注者コード	建設業許可番号の「-」(ハイフン)を除いた8桁の番号を記入する。 (例) 12-345678の場合…12345678	○	○		
予備	(国と同じ)	△	△		
ソフトウェア用TAG	(国と同じ)	△	△		

INDEX D.XML, INDEX ED(電気通信設備)、INDEX MD.XML(機械設備)

国土交通省令和5年3月版「土木設計業務等の電子納品等要領」(「同 電気通信設備編」「同 機械設備工事編」と異なるものを列挙する。
ここに記載のない項目は国交省の同要領に従うこと。納品時には「埼玉県での必要度」が◎○のものには必ずエラーチェック、訂正を行うこと。
◎:必須 ○:条件付き記入(データがある場合は必ず記入) △:任意

項目名	埼玉県における取扱い	国要領での必要度	埼玉県での必要度	納品時エラーチェック	止むを得ない理由
基礎情報					
メディア番号	大容量ファイル交換システム等を活用した場合は1とする	◎	◎		
メディア総枚数	大容量ファイル交換システム等を活用した場合は1とする その他データ用媒体は電子納品保管管理システム登録対象外のため、メディア枚数には含まない。 (例) 登録用媒体2枚(SD)、その他データ用媒体1(HDD)の場合・・・2 登録用媒体を大容量ファイル交換システム、その他データ用媒体1枚(HDD)の場合・・・1	◎	◎		
適用要領基準	土木関係委託は「土木202303-1」、電気通信設備関係委託は「電通2023-01」、機械設備関係委託は「機械2023-01」とする	◎	◎		
報告書フォルダ名	(国と同じ)「REPORT」で固定	○	△		
報告書オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)「REPORT_ORG」で固定	○	△		
公開用成果品フォルダ名	(国と同じ)「OPENREP」で固定	○	△		
台帳フォルダ名	(国と同じ)土木、電気通信設備は「REGISTER」、機械設備は「REGIST M」で固定 ※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	○	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ情報	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ名	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名	(国と同じ)※台帳フォルダ以下は各事業課所管の要領・仕様等を参照のこと	◎	△		
図面フォルダ名	(国と同じ)「DRAWING」で固定	○	△		
写真フォルダ名	(国と同じ)「PHOTO」で固定	○	△		
測量データフォルダ名	(国と同じ)「SURVEY」で固定	○	△		
地質データフォルダ名	(国と同じ)「BORING」で固定	○	△		
ICON フォルダ名	(国と同じ)「ICON」で固定	○	△		
BIMCIM フォルダ名	(国と同じ)「BIMCIM」で固定	○	△		
業務件名等					
業務実績システムバージョン番号	0を記入する(使用しない)	◎	×		
業務実績システム登録番号	(国と同じ)TECRIS番号を記入する TECRIS登録がない場合は「0」とする	◎	◎		
設計書コード	工事執行管理システムの連携番号11桁を記入する。 複数年度の業務の場合は発注最終当初年度(ゼロ債務工事の場合は当初支出自負担行為を起算した年度)の連携番号を記入する。	◎	◎		
業務名称	(国と同じ)	◎	◎		
住所情報					
住所コード	(国と同じ)	◎	◎		
住所コード	(国と同じ)	◎	◎		
履行期間-着手	(国と同じ)	◎	◎		
履行期間-完了	(国と同じ)	◎	◎		
場所情報					
測地系	(国と同じ)	◎	△		
水路・水系情報					
対象水系路線コード	(国と同じ)	△	△		
対象水系路線名	正式な名称を記載し、主要地方道を(主)等に省略しない 複数路線にわたる場合は半角コンマ","で区切る (例) "新河岸川"に係る業務・・・一級河川新河岸川 "毛長川排水機場"に係る業務・・・一級河川毛長川 "県道朝霞麻線"に係る業務・・・主要地方道朝霞麻線 "秋ヶ瀬橋"に係る業務・・・主要地方道さいたま東村山線 複数路線にわたる業務・・・一般国道254号,一般県道川越新座線	○	○		
現道-旧道区分	(国と同じ)	○	△		
対象河川コード	(国と同じ)	○	△		
左右岸上下線コード	(国と同じ)	○	△		
測点情報	(国と同じ)	○	△		
距離情報	(国と同じ)	○	△		
境界座標情報					
西側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
東側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
北側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
南側境界座標緯度	(国と同じ)	◎	◎		
施設情報					
施設コード	点検委託や地質調査等、複数の地点を含む場合は、業務を行った箇所分の登録を行う 別紙「施設コード一覧」を参照	◎	◎		
施設名称	〃 〃	◎	◎		
測地系	〃 〃	◎	◎		
緯度経度					
施設情報緯度	〃 〃	○	△		
施設情報経度	〃 〃	○	△		
平面直角座標					
施設情報平面直角座標番号	〃 〃	◎	◎		
施設情報平面直角座標X座標	〃 〃	◎	◎		
施設情報平面直角座標Y座標	〃 〃	◎	◎		
発注者情報					
発注者機関コード	CORINSの発注機関コードを記入する (例) 道路環境課・・・31101007 さいたま県土整備事務所・・・31105001 営繕・公園事務所・・・31110000	◎	◎		
発注者機関事務所名	発注機関名をCORINSの発注機関コードの細分類に従って記入する。 (例) 道路環境課・・・県土整備部 さいたま県土整備事務所・・・さいたま県土整備事務所 営繕・公園事務所・・・埼玉県営繕・公園事務所	◎	◎		

項目名	埼玉県における取扱い	国要領 での必要度	埼玉県での 必要度	納品時 エラー チェック	止むを得ない 理由
業務担当課	本庁部局の場合は課名+担当名、地域機関の場合は担当名を記入する。 課名と担当名の間は空白は入力しない。また、地域機関で河川部、道路 部が設定されている場合、部名は省略する。 (例) 道路環境課 補修担当・・・道路環境課補修担当 さいたま県土整備事務所 河川部 河川・鴻沼川改修事業担当・・・河川・ 鴻沼川改修事業担当 営繕・公園事務所 公園担当・・・公園担当	◎	◎		
受注者情報					
受注者名	受注者名は埼玉県入札参加資格名簿に記載されている正式名称を記入 する。「(株)」等の略称は不可。JVの場合は正式名称及び代表者名を続 けて記入する。 (例) 〇〇測量設計株式会社 株式会社▲▲▲地質調査 ●●コンサルタント株式会社△△設計共同企業体(代表:●●コンサル タント株式会社)	◎	◎		
受注者コード	(国と同じ)	○	○		
業務情報					
主な業務の内容	(国と同じ)	◎	◎		
業務分野コード	(国と同じ)	◎	◎		
業務キーワード	(国と同じ)	◎	◎		
業務概要	(国と同じ)	◎	◎		
ICON対象	(国と同じ)	◎	◎		
BIMCIM対象	(国と同じ)	◎	◎		
予備	(国と同じ)	△	△		
ソフトメーカ用TAG	(国と同じ)	△	△		